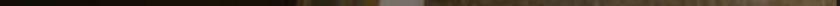
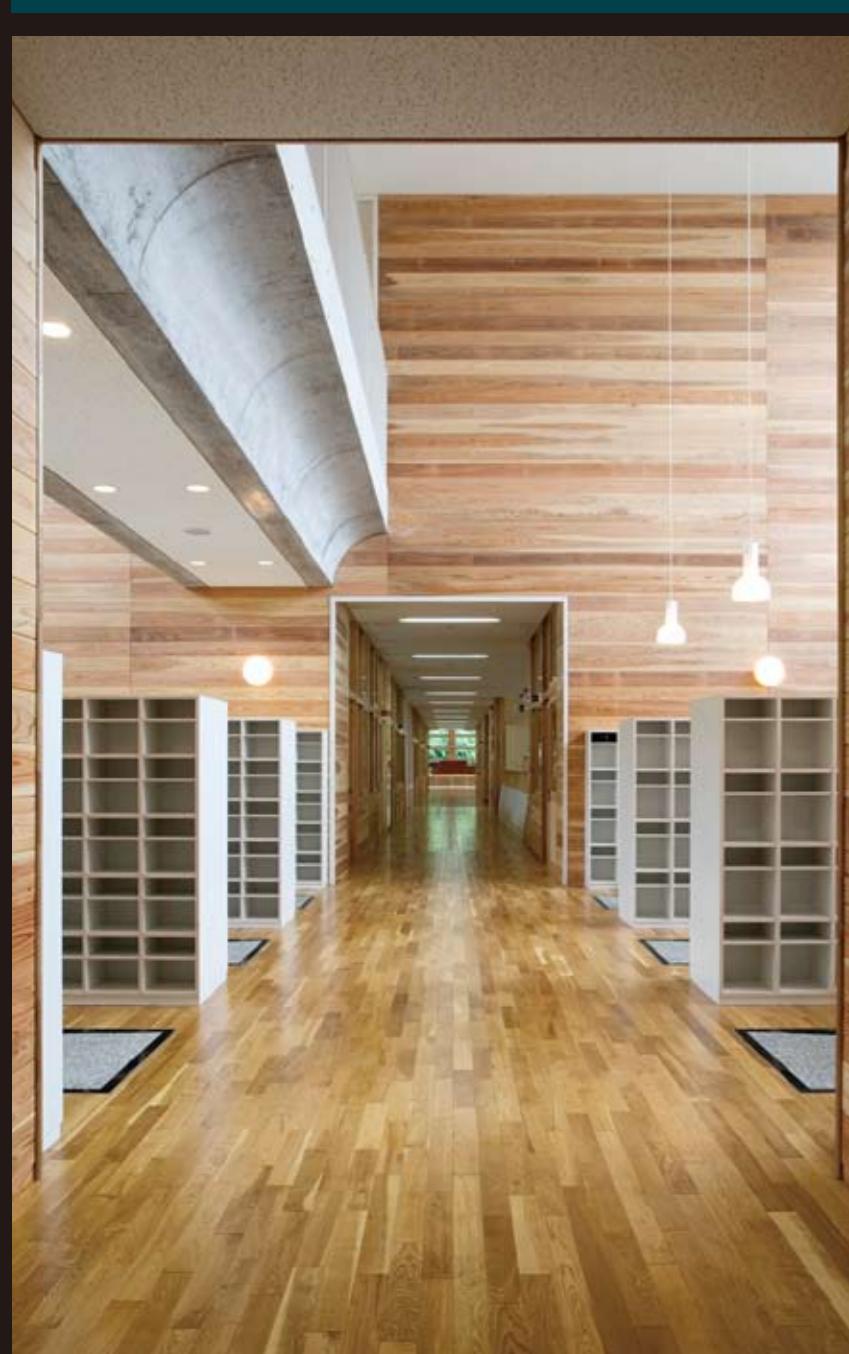
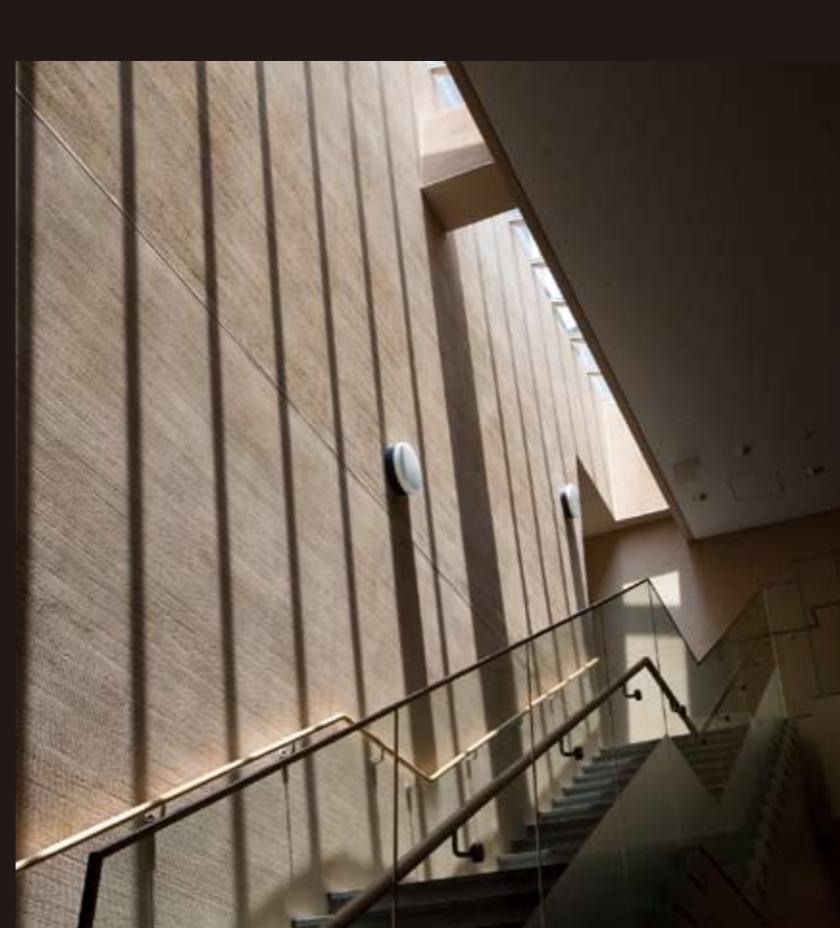




小学校

人や自然や動植物との『対話』を促す校舎を目指しています。

敷地東の丘房に湧き出す水を引き込み、柴山潟へ至るダイナミックなビオトープ。潟と一体となった屋上プール、丘の自然が内部に溶け込んでくる講堂は、敷地の個性を活かしたこの校舎の特徴です。



博物館

金沢は日本の98%の金箔を生産しています。
その金箔を紹介する博物館です。

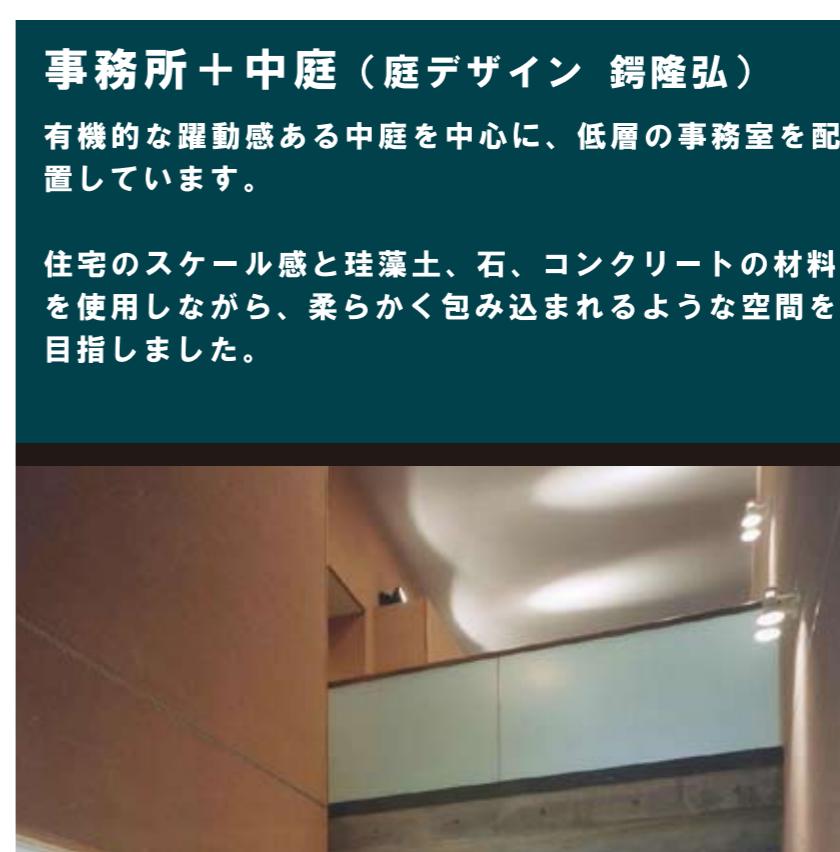
金沢市東山の茶屋街にほど近い、幹線道路に面しています。町並みに調和するよう蔵をモチーフとしました。建築の内外に金箔をちりばめ、建築のアイデンティティを表現しています。



工場

金沢に本社を置く企業の主力工場です。

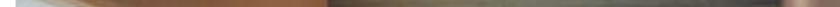
犀川に面し、また、本社に隣接する敷地であるため、無機的な塊の建築とならないよう心がけました。下部と上層に分け、底や有孔折板で建築に表情をつけています。また、一連の既存工場や事務所群との調和を図っています。



事務所

単純な形態と、質感で企業イメージを表現しました。

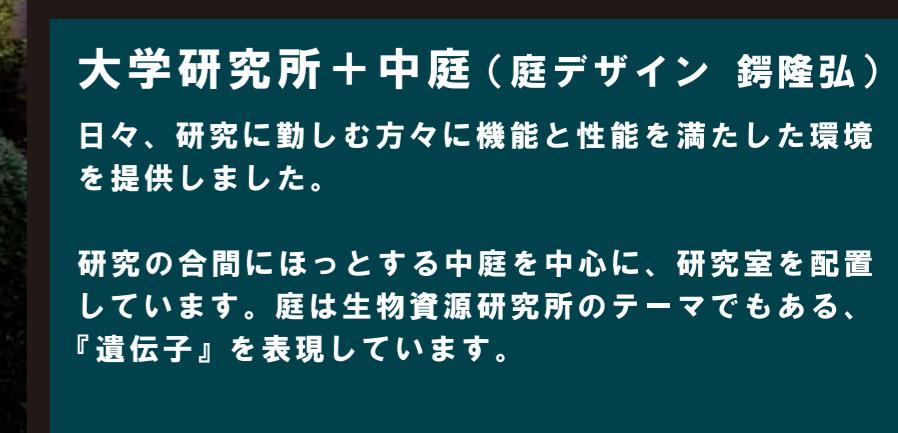
町工場と住宅が混在する地域で、近隣の住環境に配慮し、建物位置を決めています。また、大通りからは認識性の高さから、街のランドマークとなっています。



事務所併用住宅

市内商住混在する街並みとの関わり方を模索しました。

隣地住宅の採光、通風、プライバシーを確保するよう本住宅の配置を決め、隣地側全面に有孔折板を採用しています。西、南面についても同様に街との関わりを折板のスクリーンで調整しています。



大学研究所+中庭（庭デザイン 銀隆弘）

日々、研究に勤むの方々に機能と性能を満たした環境を提供しました。

研究の合間にほっとする中庭を中心に、研究室を配置しています。庭は生物資源研究所のテーマでもある、『遺伝子』を表現しています。